

「21世紀型コミュニケーション力の育成」研修モジュール

A1 概要解説モジュール

【ここでは】

21世紀型コミュニケーション力育成の概要や基本的な考え方について、教師集団で理解を深めたり、校内研修等での取組の方向性を確認します。

一般財団法人 コンピュータ教育推進センター

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

この「**理論解説モジュール**」では、21世紀型コミュニケーション力育成の概要や基本的な考え方について、教師集団で理解を深めたり、校内研修等での取組の方向性を確認します。

21世紀型コミュニケーション力

主体的に情報にアクセスし、収集した情報から課題解決に必要な情報を取り出し、自分の考えや意見を付け加えながらまとめ、メディアを適切に活用して伝え合うことにより深めていくことができる能力。

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

21世紀型コミュニケーション力とは、「主体的に情報にアクセスし、収集した情報から課題解決に必要な情報を取り出し、自分の考えや意見を付け加えながらまとめ、メディアを適切に活用して伝え合うことにより深めていくことができる能力。」のことです。

21世紀型コミュニケーション力

②交流

考えを出し合い、相手の意見を聞いて相手のことを理解する

③討論

相手の考えと自分の考えを比較検討して意見を返すことを繰り返す

協調的レベル ⇄ 主張的レベル

①対話

考えを出し合い、お互いの考えを明らかにする

④説得・納得

相手に自分の考えを明確に伝えて意見交換しながら、筋道を立てて説き伏せる

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

21世紀型コミュニケーション力は、4つに分類できます。①と②は、「協調的レベル」です。このレベルでは、いろいろな意見点考えのちがいや同じに気づくことが重要です。一方、③と④は「主張的レベル」です。このレベルでは、相手の意見と比べることなどを通して、自分の意見を筋道立てて主張することが重要です。

21世紀型コミュニケーション力

対 話		交 流		討 論		説得・納得	
考えを出し合い、お互いの考えを明らかにする		考えを出し合い、相手の意見を聞いて相手のことを理解する		相手の考えと自分の考えを比較検討したり意見交換したりする		自分の伝えたいことを論理的に話したり、相手の考えを理解して受け入れたりして、共通理解を深める	
聞く・わかる	話す・伝える	聞く・わかる	話す・伝える	聞く・わかる	話す・伝える	聞く・わかる	話す・伝える
相手の考えを聞く	自分の考えを持つ	相手の考えを聞く	自分の考えを持つ	相手の考えを聞く	自分の考えを持つ	相手の考えを聞く	自分の考えを持つ
相手の考えを聞きながら、相手の目的や立場を理解する	自分の考えを相手に話す	相手の考えを聞きながら、相手の目的や立場を理解する	自分の考えを相手に話す	相手の考えを聞きながら、相手の目的や立場を理解する	自分の考えを相手に話す	相手の考えを聞きながら、相手の目的や立場を理解する	自分の考えを相手に話す
		相手の考えに共感しながら聞く	相手の話を聞いて話したり聞いたりする	相手の考えに共感しながら聞く	相手の話を聞いて話したり聞いたりする	相手の考えに共感しながら聞く	相手の話を聞いて話したり聞いたりする
		相手の考えを聞きながら、相手の目的や立場を理解する	お互いの考えを整理し、目的や立場に応じて伝える	相手の考えを聞きながら、相手の目的や立場を理解する	お互いの考えを整理し、目的や立場に応じて伝える	相手の考えを聞きながら、相手の目的や立場を理解する	お互いの考えを整理し、目的や立場に応じて伝える
				相手の考えを聞きながら、考えの共通点や相違点を理解する	同じところや多様な考えを出し合い、考えを深める	相手の考えを聞きながら、考えの共通点や相違点を理解する	同じところや多様な考えを出し合い、考えを深める
				話題について多様な考えを出し合い、考えを確かにする	話題について多様な考えを出し合い、考えを確かにする	話題について多様な考えを出し合い、考えを確かにする	話題について多様な考えを出し合い、考えを確かにする
						自分の考えがわかってもらえたか相手の発言や表情を確認し、新たな説明の仕方を検討する	筋道立った説明をしようとしているか再考し、相手に伝える
						議論について多面的な意見を出し合いながら、共通理解を深める。	自分の経験やものの例えを用いて、相手を説き伏せる

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

「話す・伝える」と「聞く・わかる」の具体は、この表のようになります。例えば、「説得・納得」では、「筋道たった説明をしようとしているか再考し、相手に伝える」までを求めています。書籍「コミュニケーション力育成の手引」には、各教科別にさらに詳しく表記しています。

21世紀型コミュニケーション力

【聞く・わかる】

【話す・伝える】

説得・納得

論議について多面的な意見を出し合いながら共通理解を深める
自分の考えが分かってもらえたか言葉や表情で確認し
新たな説明の仕方を検討する

自分の経験やものの例えを用いて相手を説き伏せる
筋道立った説明をしようと相手の発しているか再考し、相手に伝える

討論

話題について多様な考えを出し合い受け入れる
相手の考えを聞きながら
点や相違点を理解する

話題について多様な考えを出し合い考えを深める
考えの共通点や相違点を考えの共通確認し合う

交流

相手の考えを聞きながら
相手の目的や立場を理解する
相手の考えに共感しながら聞く

自分の考えを整理し
目的や立場に応じて伝える
相手の話を受けて
話したり質問したりする

対話

相手の考えに関心をもって聞く
相手の考えを聞く

自分の考えを相手に話す
自分の考えを持つ

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

こうやって段階で示すと、より比べやすくなりますね。

詳しくは資料を参照しましょう

配布資料:「続・コミュニケーション力指導の手引」
p8-17

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

「続・コミュニケーション力指導の手引き」p8に載っていますが、21世紀型コミュニケーション力は、①人やメディアにアクセスするスキル、②複数の情報から必要な情報を取り出し、新たに情報を生成するスキル、③メディアを活用しながら表現交流し合うスキルの3つを身につけるためのスキルとしています。配布資料の各教科について、しばらく目を通してみましょう。（※講師の方へ:5分程度時間をとる）

モデル授業を視聴しましょう

配布資料:「続・コミュニケーション力指導の手引」
p48-49

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

では、モデル授業の映像を見てみましょう。

(※講師の方へ: <http://www.cec.or.jp/cecre/21ccomvideo.html>にありますので、インターネットにつないで指定の映像をクリックしましょう。なお、関連の指導案もついていますので、必要に応じて、印刷配布しましょう。)

協調的レベル

多様性の理解

自分と友達の考えの共通点あるいは相違点について、お互いの考えを整理する。

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

モデル授業の映像はいかがだったでしょうか。「交流」の授業については、「自分と友達の考えの共通点あるいは相違点について、お互いの考えを整理する」様子が見られたと思います。これは、Aという考えとBという考えがあるんだな、というような多様性の理解に迫ることになります。

主張的レベル

最適化の追究

他の友だちとの考えの相違を理解した上で、しかし、自身の考えの正当性を理由や根拠、事例などをもとに展開する。

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

一方、「討論」や「説得・納得」のモデル授業では、最適化の追究が重要になります。これは、「他の友だちとの考えの相違を理解した上で、しかし、自身の考えの正当性を理由や根拠、事例などをもとに展開する」場面が授業内で見られます。考えを深めるために、どのような授業場面があるか、教師はそのときにどのような声かけや整理が必要なのか、ぜひみなさんと話し合ってみましょう。